

## 第4回 国際産学連携拠点に関する検討会 議事要旨

日時：平成27年2月13日（金）10：00～12：00

場所：経済産業省本館17階第1特別会議室

出席者：小沢委員、角山委員、原委員、小原委員、古賀委員、中村委員、渡部委員代理（森山委員代理出席）、松田委員、石崎委員、近藤委員、菅野委員、袖岡委員、松本委員、中澤委員代理（坂本委員代理出席）、西田委員、星野委員、上田委員代理（宮本委員代理出席）、新川委員、豊島委員

議題：1. 総合防災教育拠点整備の必要性  
2. 国際産学連携拠点に関する県の考え方  
3. 浜通り復興拠点整備と東京電力株式会社の取り組みとの連携  
4. 自由討議

議事概要：

- （1）総合防災教育拠点整備の必要性について、一般社団法人 災害対応訓練研究所 代表理事 熊丸氏より説明。
- （2）国際産学連携拠点に関する県の考え方について、近藤委員、菅野委員より説明。
- （3）浜通り復興拠点整備と東京電力株式会社の取り組みとの連携について、石崎委員より説明。

（4）自由討議

委員からいただいた主な意見等は以下のとおり。

- ・国際産学官共同研究室には、①研究開発支援機能・②大学発ベンチャー育成機能・③マッチング支援機能が必要である。
- ・大学教育拠点については、①国際的な産学官共同研究室（廃炉・ロボット等）への様々な大学院（県内外）の入室・共同研究の実施、②入居した大学院・研究室による単位互換・講座の開設、③大学（学部）機能の検討という3つのステップが必要である。
- ・民間企業共同施設整備における事務所・宿泊施設等の整備、住民帰還を促進する運輸交通サービスの整備についても、期待するところである。
- ・ハード整備だけでなく、ソフト的な取り組みについても、きちんと検討をしていく必要があるのではないか。
- ・既存に各機関が整備しつつある研究機関との連携の仕組みも重要である。